



デジタル田園都市国家構想交付金の概要

- デジタル田園都市国家構想の実現による地方の社会課題解決・魅力向上の取組を加速化・深化する観点から、「デジタル田園都市国家構想交付金」により、各地方公共団体の意欲的な取組を支援。

今回の交付対象

デジタル田園都市国家構想交付金

デジタル実装タイプ

- デジタル技術を活用し、地方の活性化や行政・公的サービスの高度化・効率化を推進するため、デジタル実装に必要な経費などを支援。

書かない窓口



地域アプリ



遠隔医療



地方創生拠点整備タイプ

- 観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する拠点施設の整備などを支援。

道の駅に隣接した観光拠点



子育て支援施設



スタートアップ支援拠点



地方創生推進タイプ

- 観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する取組などを支援。
- 地方版総合戦略に位置付けられた地方公共団体の自主的・主体的な取組を支援（最長 5 年間）
 - 東京圏からのUIターン促進及び地方の担い手不足対策
 - 省庁の所管を超える 2 種類以上の施設（道・汚水処理施設・港）の一体的な整備

地域産業構造転換インフラ整備推進タイプ

- 産業構造転換の加速化に資する半導体等の大規模な生産拠点整備について、関連インフラの整備への機動的かつ追加的な支援を創設。

大規模生産拠点
整備プロジェクト

← 選定

プロジェクト
選定会議

デジタル実装タイプ1/2/3等：制度概要


目的	デジタルを活用した意欲ある地域による自主的な取組を応援し、「デジタル田園都市国家構想」を推進するため、デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けた地方公共団体の取組を交付金により支援
概要	デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上に向けて、以下の事業の立ち上げに必要な経費を単年度に限り支援 【TYPE1】他の地域等で既に確立されている優良なモデル・サービスを活用して迅速に横展開する取組 【TYPE2】オープンなデータ連携基盤を活用し、複数のサービス実装を伴う、モデルケースとなり得る取組 【TYPE3】(TYPE2の要件を満たす) デジタル社会変革による地域の暮らしの維持につながり、かつ総合評価が優れている取組 【TYPE5】「デジタル行財政改革」の基本的考え方に合致し、将来的に国や地方の統一的・標準的なデジタル基盤への横展開につながる見込みのある地方自治体の先行モデル的な取組
共通要件	①デジタルを活用して地域の課題解決や魅力向上に取り組む ②コンソーシアムを形成する等、地域内外の関係者と連携し、事業を実効的・継続的に推進するための体制を確立

＜TYPE別の内容＞


<p>デジタル行財政改革 先行挑戦型 【TYPE 5】</p>	「デジタル行財政改革」の基本的考え方に合致し、国や地方の統一的・標準的なデジタル基盤への横展開につながる見込みのある先行モデル的な取組	事業費：5億円 補助率：3/4 + 伴走型支援
<p>デジタル社会変革型 【TYPE 3】</p>	下記いずれかを満たし、総合評価が優れているもの ・新規性の高いマイナンバーカードの用途開拓 ・AIを高度活用した準公共サービスの創出	国費：4億円 補助率：2/3
<p>データ連携基盤活用型 【TYPE 2】</p>	データ連携基盤を活用した、複数のサービスの実装を伴う取組	国費：2億円 補助率：1/2
<p>優良モデル導入支援型 【TYPE 1】</p>	優良モデル・サービスを活用した実装の取組	国費：1億円 補助率：1/2

＜対象事業（一例）＞

【TYPE2/3】
複数分野データ連携の促進による共助型スマートシティ（会津若松市）



【TYPE1】
書かない窓口 地域アプリ 遠隔医療



今回の交付対象

上記のほか、計画策定支援事業において、デジタル実装に取り組もうとする地域の計画づくりを支援し、地方創生テレワーク型において、サテライトオフィスの整備・利用促進等を支援。

事業概要 【書かない窓口化事業】

自治体名	神奈川県葉山町	人口	32,279人	事業費	22,475千円
事業概要	<p>引越しやライフイベント、マイナンバーカード交付手続きによる窓口の繁忙が課題となっています。そのため、「かんたん窓口システム」の導入により、手続き負担の軽減、要する時間の短縮を図ります。また、「窓口案内システム」「証明書交付システム」を併せて導入することにより、来庁者の窓口集中を防ぎ、より効率的な窓口の実現を図ります。</p>				
具体サービス	<p>【かんたん窓口システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> マイナンバーカードのICチップを読み込むことで、既存宛名情報参照し、来庁者が記載しなくても申請書を作成できます。 事前設定された設問に、来庁者が回答することで、必要な手続きを自動で判定します。 入力した申請データは関連課で活用できます。 <p>【窓口案内システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 来庁目的に合った番号を総合案内が発券します。 順番待ちの見える化によりストレスが軽減されます。 課から課への渡り機能により、最初に番号を発券した時間に応じ、次の課で優先的に案内します。 <p>【証明書交付システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> マイナンバーカードを活用して職員を介さず証明書の申請ができます。 申請書記入の手間を軽減します。 		<p>-かんたん窓口システム-</p> <p>-証明書交付システム-</p>		
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>①書かない窓口化対応件数、②証明書交付システム利用件数、③窓口案内システム利用件数</p>		<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>①書かない窓口の満足度、②証明書交付システムの満足度、③窓口案内システムの満足度</p>		

事業概要 【ICTを活用した学びの改革推進事業】

自治体名	神奈川県葉山町	人口	32,279人	事業費	7,423千円
事業概要	<p>本町では小中一貫校の令和7年度開設を見据え、「個に応じた学び」「探究的な学び」の実現が喫緊の課題となっている。そのため、AIドリルなど4つのICTサービスを活用することで、児童・生徒の「学びの個別最適化」「探究的な学び」の実現を図ることで、9年間の系統的なカリキュラムを作成し、小中一貫校開設につなげていくこととする。</p>				
具体サービス	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>【AIドリル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AIの分析による個別最適な学習で確かな学力が身に付く ・不登校児童生徒などへの支援教育の充実 ・教員の働き方改革に直結する <p>【児童生徒支援のための教職員用ソフト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な児童生徒への適切なアセスメント ・個に応じた教材作成 ・研修動画による教員の研鑽、授業力の向上 <p>【運動の分析のためのICTサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動きを録画・分析、話し合い等を通して、探究的な体育の学習を促進 <p>【多様な生き方に触れて考えを交流するためのICTサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な生き方・経験を有する大人が語る動画から考えをアウトプット、交流し、自己の生き方について深く考える </div> <div style="flex: 1;"> </div> </div>				
主なKPI	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①【AIドリル】ひと月当たりの平均利用日数 ②【児童生徒支援のための教職員用ソフト】ひと月当たりの平均利用日数 ③【運動の分析のためのICTサービス】年間利用回数の累計 ④【多様な生き方に触れて考えを交流するためのICTサービス】年間利用回数の累計 </div> <div style="flex: 1;"> <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①【AIドリル】活用度 ②【児童生徒支援のための教職員用ソフト】活用度 ③【運動の分析のためのICTサービス】活用度 ④【多様な生き方に触れて考えを交流するためのICTサービス】生徒の意識の変容 </div> </div>				

事業概要 【介護認定審査会のオンライン化】

自治体名	神奈川県葉山町	人口	32,279人	事業費	3,047千円
事業概要	介護認定審査会のペーパーレス化、オンライン化を実施することにより、より多くの件数を短時間で正確に審査することで、円滑な地域の介護保険事業を支援する。				
具体サービス	<p>● 迅速な介護認定の実施</p> <p>【資料送付のデータ化】 審査会資料をデータ送付することで、郵送や手渡しで配布していたものを、迅速かつ安全に配布する。</p> <p>【事前審査の実施】 事前に送信された資料データを活用しシステムで事前審査を実施することで、迅速かつ正確な審査会の運用が可能になり審査時間の短縮につながる。</p> <p>【審査会のオンライン化】 審査会のオンライン化により、感染症リスクを低減し、審査会の安定開催を図る。</p>				
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <p>① 1回あたりの審査件数</p>	<p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <p>① 認定までの処理日数</p> <p>② 審査会の所要時間</p>			